

別冊資料

# 一畑電車北松江線及び大社線鉄道事業再構築実施計画

令和7年7月

島根県 松江市 出雲市 一畑電車株式会社



## 1. 鉄道事業再構築事業を実施する路線及び区間

事業者名	路線名	区間	路線延長	旅客輸送密度 (令和5年度)
一畑電車株式会社	北松江線	松江しんじ湖温泉～川跡～電鉄出雲市	33.9km	1,579人
	大社線	川跡～出雲大社前	8.3km	1,104人

## 2. 地方公共団体その他の者による支援の主な内容

### (1) 沿線自治体（島根県、松江市、出雲市）による支援

一畑電車への支援については、島根県、松江市、出雲市で構成する「一畑電車沿線地域対策協議会」が支援を行っている。

令和7年2月に策定した「一畑電車支援計画」に基づき、令和7～16年度までの鉄道施設等の整備に係る費用及び維持管理に係る費用を島根県及び沿線2市で負担するとともに、鉄道事業者の保有する固定資産部分に係る固定資産税相当額を沿線2市で負担する。

### (2) 沿線地域の住民等による利用促進のための活動

地域住民や学校による駅の美化活動や地域における電車の乗り方教室などを通じ、一畑電車の役割や必要性についての理解を深めるとともに、利用の促進につなげる。

また、地元企業などを中心に、全国から多くの方が参拝に訪れる出雲大社の最寄り駅である一畑電車出雲大社前駅の周辺などにおいて、イベントの開催などにより、地域の魅力を発信するとともに、沿線地域外からの一畑電車の利用を促進する。

### (3) 沿線自治体による利用促進策

#### ①二次交通の確保・改善

一畑電車への接続を確保するため、コミュニティバスやAI（人工知能）が予約状況に応じて最適なルートを考えながら運行するAIデマンドバスなど二次交通の維持確保・改善を図り、利用促進につなげる。

#### ②観光客の来訪促進

車両への観光キャラクターなどのラッピングや、国際チャーター便の利用客の県内観光ツアーでの利用など、一畑電車を観光資源として活用し、海外を含む沿線地域外からの来訪を促進する。

#### ③公共交通を乗って守る意識の醸成

公共交通を乗って守る意識を醸成するため、子どもの頃から公共交通に接し、公共交通の役割や必要性について理解を深めるための子ども向けの電車の乗り方教室など、啓発活動を推進する。

## 3. 計画期間

令和7年7月1日～令和17年3月31日

本計画に基づく事業の進捗状況を踏まえて、本計画の実施予定期間中であっても適宜計画の見直しを行いながら、鉄道事業再構築事業を実施する。

#### 4. 事業構造の変更の内容

引き続き、一畑電車が第一種鉄道事業者として運行及び鉄道施設等の保守管理を担い、島根県及び沿線2市（松江市、出雲市）が、安全輸送設備更新や新造車両の導入等の安全性や利便性の確保に向けた取り組みも含めた鉄道施設等の整備費及び鉄道施設等の維持管理費を全額負担するとともに、沿線2市が、鉄道事業者の保有する固定資産に係る固定資産税相当額を負担する事業構造とする。

#### 5. 鉄道事業再構築事業の実施に必要な資金の額及びその調達方法

鉄道施設等整備費については、社会資本整備総合交付金（地域公共交通再構築事業）や地域公共交通確保維持改善事業費補助金（先進車両導入支援事業）などの補助制度を活用し、島根県及び沿線2市が費用を負担する。

利便性向上に向けた取組については、まちづくり、観光施策などと連携を図りながら、一畑電車において実施する。

（単位：億円）

項目	事業費	国庫補助額 (うち社総交) ※1	自治体 負担額	調達 主体	調達方法	実施 年度	起債 の有無	6との関係性
① 鉄道施設等整備費	線路設備 (ホーム改修、重軌条化、 第4種踏切安全向上対策等)	19.9	8.7 (8.6)	11.2	島根県 松江市 出雲市	R7~16	無	(1) 新型車両の導入 (2) 利便性向上策の実施 (3) 輸送の安全確保、安全・安定運行の提供
	電路設備 (変電所設備更新等)	17.4	7.5 (7.3)	9.9				
	車両 (車両更新費、設備更新等)	21.7	7.3 (3.8)	14.4				
計	59.0	23.4 (19.7)	35.6					
② 鉄道施設等維持管理費	線路設備 (道床維持、軌道補修費)	8.4	0	8.4	島根県 松江市 出雲市	R7~16	無	(1) (2) (3)
	電路設備 (保守管理費等)	6.8	0	6.8				
	車両 (定期検査費等)	6.4	0	6.4				
計	21.6	0	21.6					
合計 (①+②)	80.6	23.4 (19.7)	57.2					
利便性向上に向けた取組		-	-	一畑電車 株式会社	-	R7~16	-	(1)~(6)

※1 国庫補助が活用できない場合は、事業計画の見直しを行い、引き続き沿線自治体が支援を行う。

※2 沿対協：一畑電車沿線地域対策協議会（島根県、松江市、出雲市で構成）

## 6. 利用者の利便の確保に関する主な事項

一畑電車は沿線住民の通勤、通学等日常生活を支える重要な社会インフラであるほか、松江市と出雲市の主要な観光地を結ぶ路線であるため、地域の住民および観光客等の利用者が利便性や快適性、サービスの向上を実感できるよう、一畑電車を中心となり、沿線自治体や公共交通事業者と連携して、利用者等のニーズに対応していく。

### (1) 新型車両の導入【実施主体：一畑電車】

- ・現在の老朽化した鉄製車両に代わり、振動の抑制による乗り心地の改善など新しいタイプの車両を3両導入して利用環境を整備する。
- ・新型車両の導入により、車両の電力使用量が削減され、低炭素化が促進されるほか、車内の次駅案内表示の多言語化や公衆無線LANの整備を行うことにより、外国人旅行者の受入環境整備を行う。また、観光客の来訪促進につながるよう、車内空間の快適化を図った魅力ある車両とする。
- ・3両のうち、2両については、日常の通勤や通学等だけでなく、観光列車としての機能も備えた多目的に利用できる車両を導入して、運用の効率化を図る。

### (2) 利便性向上策の実施【実施主体：一畑電車】

- ・駅構内でのスムーズな移動ができるよう、スロープの改良など、利用者に配慮した環境整備を行う。
- ・交通系ICカードやQRコード・バーコード等によるキャッシュレス決済への対応を促進する。
- ・電子チケットの導入や観光地型MaaSの展開等によるシームレスな移動環境を推進する。
- ・交通結節点での荷物配送や商品受け取り等利用者利便を高めるためのサービスを推進する。

### (3) 輸送の安全確保、安全・安定運行の提供【実施主体：一畑電車】

- ・レールの重軌条化、PCマクラギ化などの線路設備の改良や電路設備、車両設備の計画的な更新を行うことにより、乗り心地の改善や定時性、速達性の向上を図ることとともに、安全・安定な輸送を確保する。
- ・安心、安全な運行サービスを提供するため、運転士や鉄道施設等の保守管理技術者の人材確保や育成を行う。
- ・事業の持続性を確保するため、別々の場所で行っている変電所の監視業務と運転指令業務を統合して、一か所で監視と指令業務を行い、業務の効率化や維持管理費の縮減を図りながら、安心、安全な運行サービスを提供する。

### (4) 松江、出雲エリアの活性化【実施主体：沿線自治体、一畑電車】

- ・松江市、出雲市が立地する島根県東部と鳥取県西部にまたがる「山陰のまんなか」（中海・宍道湖を囲む5市と大山圏域の7町村を含むエリア）には、国宝松江城等の魅力的な観光資源が多数存在していることから、インバウンドのニーズも取り込みながら、観光地を巡るサイクルツアー（サイクルトレイン）などによる利用促進に取り組み、地域の活性化をはかる。
- ・全国から多くの方が参拝に訪れる出雲大社や国宝松江城、夕景の美しさで有名な宍道湖など、魅力的な観光資源を活かし、観光協会や民間事業者等と連携した企画列車の運行や駅周辺でのイベントなど一畑電車の利用促進に取り組み、地域の活性化をはかる。

**(5) 一畑電車の魅力の向上【実施主体：沿線自治体、一畑電車】**

- ・全国に先駆けて行っている営業本線を活用した電車の体験運転や、地元食材などを提供するイベント列車の運行など、一畑電車の魅力向上と新たな収入源の確保を目指す。
- ・国の登録有形文化財に指定されている出雲大社前駅の駅舎や宍道湖沿いの駅のホームから望む景色など、一畑電車の周知と利用促進のため、SNSでの発信などのプロモーションを強化する。

**(6) まちづくり、観光施策との連携【実施主体：沿線自治体、一畑電車、公共交通事業者】**

- ・沿線地域と連携し、駅舎や駅周辺において、マルシェなどの集客性の高いイベントを開催することにより、沿線地域外から、または沿線地域内の一畑電車利用を促進する。
- ・一畑電車が友好協定を締結している台湾国営台湾鉄路株式会社との間で実施している相互の乗車券交流を中心に、インバウンド誘客を強化するとともに、海外からの観光客向けの電車の体験運転について、SNS等を活用して広く周知する。
- ・公共交通の役割や必要性についての理解を深めるため、一畑電車や沿線自治体が連携し、こども向けの電車の乗り方教室などの啓発活動を推進する。
- ・一畑電車と他の公共交通事業者において、公共交通利用者を増やすため、家族向けの公共交通機関の乗車イベントを実施し、利用促進を促すとともに、公共交通が環境負荷の少ない輸送機関であることをあわせて情報発信し、循環型社会の実現を目指す。
- ・年末年始や地元のイベント開催日などにおいては、交通渋滞の緩和にも寄与するため、列車の増発や終電時刻の繰り下げを実施し、旅客需要などを踏まえた柔軟な運用を行う。
- ・交通結節点における一畑電車と路線バスとの接続を確保し、沿線地域の交通ネットワークを維持する。
- ・拠点間が利便性の高い公共交通で結ばれたコンパクトなまちを目指すため、AI（人工知能）が予約状況に応じて最適な運行ルートを考えながら走る新しい乗合バスの導入や、利便性の高いパターンダイヤでの列車の運行など、地域公共交通の充実を図る。
- ・交通系 IC カードでの決済を導入している路線バスの運行情報など交通事業者が持つデータの活用を検討し、一畑電車の新たな移動需要など把握する。

## 7. 鉄道事業再構築事業の効果

一畑電車が第一種鉄道事業者として運行及び鉄道施設の保守管理を担い、島根県及び沿線2市（松江市、出雲市）が、鉄道施設整備費等を負担することにより、宍道湖北岸の地域公共交通ネットワークの安定性や安全性が強化される。

また、6に記載の利用者の利便の確保に関する取組を進めることにより、一畑電車沿線地域公共交通計画に定める「一畑電車を安全に、安心して利用できる環境を整備する」、「国内・海外からの観光客の来訪を促進する」といった目標の達成に資することができる。

一畑電車の年間輸送人数の増加

計画前（令和5年度）	計画最終年度（令和16年度）
134万人	140万人

一畑電車の運行収支（「上」の部分）の改善

計画前（令和5年度）	計画最終年度（令和16年度）
▲57百万円	1百万円

鉄道事業再構築事業に伴う地方自治体の支出額 57.2億円

## 8. 鉄道事業再構築事業の実施のために必要な事項

島根県や沿線2市が策定した計画に定められた、鉄道事業再構築事業に関連して実施されるまちづくりや観光戦略等の主な事業内容

### （1）「一畑電車沿線地域公共交通計画」（島根県、松江市、出雲市）

基本方針1. 利便性が高く、安全・快適に利用できる公共交通ネットワークの構築

#### （1）地域の基幹交通である一畑電車の利便性を高める

##### ①都市間及び地域間の移動利便性の向上

- ・平日朝夕の急行列車等の運行や日中のパターンダイヤでの運行
- ・車両更新時期にあわせ、車内空間の快適性向上等によるグレードアップ車両の導入

##### ②旅客需要や利用者のニーズを踏まえた運用の見直し

- ・通勤・通学時刻に配慮した時刻調整
- ・年末年始や松江水郷祭等のイベント開催日において、増発や終電時刻の繰り下げの実施
- ・曜日や時間帯で変わる需要に対応した運用の見直し

#### （2）一畑電車を軸とする公共交通ネットワークを確保する

##### ①一畑電車と接続する公共交通の運行確保

- ・一畑電車各駅で接続するバス路線について、国の補助事業等を活用しつつ運行を確保
- ・鉄道や定時定路線型のバスではカバーできない移動需要に対応するため、タクシーの活用等により、一畑電車の最寄り駅までの移動手段を確保

#### （3）一畑電車を安全に、安心して利用できる環境を整備する

##### ①鉄道施設の安全性の向上

- ・沿線自治体の支援による鉄道施設の計画的な設備投資等（老朽化対策、利便性向上、安全性向上のための施設整備）
- ・「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく鉄道事業再構築実施計画を策定し、国庫補助を活用した鉄道施設の整備を実施

#### ②利用環境の改善

- ・交通系 IC カードや QR カード・バーコード等によるキャッシュレス決済への対応促進
- ・駅や車両のバリアフリー対策（段差解消、点状ブロック設置、音声案内等）の推進
- ・パーク＆ライド駐車場や駐輪場の利用方法等の周知強化

#### ③利用方法やサービス内容の周知

- ・ホームページや SNS を活用した情報発信の充実とプレスリリースの拡大による積極的な広報活動の展開
- ・通常ダイヤ及び年末年始や松江水郷祭等の臨時ダイヤにかかる時刻表を作成し利用者へ周知

#### (4) 公共交通機関相互間の乗り継ぎの負担を軽減する

##### ①バス及び JR との接続確保

- ・交通結節点における一畑電車とバスの接続確保
- ・出雲市における一畑電車と JR の特急列車との接続確保

##### ②乗り継ぎ案内の改善

- ・主要交通結節点等において、一畑電車と接続する公共交通機関の乗換案内表示や誘導サインの設置を検討
- ・経路検索アプリなど、一畑電車を利用して目的地まで移動する際の経路や運賃等の検索サービスの情報を随時更新

#### 基本方針 2. 公共交通で外出する機会の創出

##### (1) 国内・海外からの観光客の来訪を促進する

###### ①観光客の来訪促進

- ・SNS 等を活用しイベントや誘客の取り組みなどの積極的な情報発信
- ・体験運転メニューの拡大による観光誘客
- ・複数事業者での企画乗車券の販売、割引制度導入等の検討
- ・電子チケットの導入や観光地型 MaaS の展開等によるシームレスな移動環境の構築推進
- ・交通結節点での荷物配送や商品受取りにより利便性を高めるサービス拡充
- ・車内空間の快適化等による観光誘客を目的とした車両の魅力度向上
- ・交通結節点や鉄道、バス、タクシーの車内における案内表示や音声案内の多言語化の推進
- ・観光客の来訪促進につながるイベント列車の運行や車両の導入

###### ②インバウンドの誘客強化

- ・友好協定を締結している国営台湾鐵路株式会社との交流を軸としたインバウンド誘客の強化
- ・一畑グループ各社や沿線自治体等と連携したインバウンド誘客の強化

##### (2) 公共交通を利用した外出を促進する

###### ①公共交通を利用した外出のきっかけづくり

- ・一畑電車駅サイトまつりなど地域と連携したイベントの開催
- ・企画乗車券の販売やイベント列車の運行による利用促進

### 基本方針 3. 地域との協働による公共交通の維持・存続

#### (1) 公共交通の役割や必要性について理解を深める

##### ①公共交通を乗って守る意識の醸成

- ・公共交通の役割や必要性について理解を深めるため、保育園や小学校での電車教室などの啓発活動の推進
- ・地域と連携した駅施設の美化対策の強化
- ・公共交通を乗って守る意識を醸成するため、家族向けの公共交通の乗車イベントを実施

#### (2) 公共交通の維持・存続に向けた活動を沿線地域全体に広げる

##### ①地域が一体となった利用促進の仕組みづくり

- ・住民向けの運賃割引や松江フォーゲルパークなどの沿線施設と連携したサービスの推進
- ・一畑電車駅サイトまつりなど地域と連携したイベントの開催（再掲）

### (2) 「MATSUE 観光戦略プラン アクションプラン」

#### III 基本戦略 基本戦略 1 魅力ある観光素材の磨き上げ

##### 主要事業 (2) ユニークな観光資源の効果的な活用

(アクションプラン) 一畑電車を活用した観光客来訪促進

(目的)

一畑電車を観光資源として活用することで、観光客の来訪者の増加を目指す。

(事業概要)

地域の基幹交通である一畑電車を魅力ある観光資源として活用し、国内・海外からの観光客の来訪を促進する。

(実施内容)

- ・利用者にとってわかりやすいパターンダイヤでの運行
- ・イベント列車など魅力ある車両の運行
- ・多言語化対応の車両の導入

### (3) 「出雲市観光基本計画」

#### III 目指す将来像と戦略

##### 2. 将来像の実現に向けた戦略

「戦略 B 観光まちづくり戦略」

##### B-3 受け入れ基盤の充実 ②公共交通等の利便性向上と活用促進

一畑電車の観光資源としての活用と利用促進

一畑電車を観光資源として活用して、観光客の来訪を促進します。

鉄道事業者等と連携し、パターンダイヤでの運行、多言語化対応の車両の導入による利用環境の向上、イベント列車など魅力ある車両の運行を実施します。